



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手工芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル
 歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

東ティモールといえば”コーヒー”ということで、今月は念願のコーヒーを摘みに地方エルメラに行ってきました。また、ティモールの友達誘ってくれ、ティモールで一番大きいお祭りだからということで、隣のマナトゥトにも行って来ました。我々の前の隊次である先輩隊員を送り出し、次は自分たちが帰国する番になりました。帰国までの時間があったという間に過ぎていきます。



念願のコーヒ摘み

2 配属先の活動

配属先では10月頃に募集が始まる国立の芸術学校の開校に向けた準備が行われています。その準備のため、配属先の同僚も部署の配置替えが行われ、我々がいる部署は人員減です。

国立芸術学校の準備

配属先のメンバーは上司を覗くと私より年下の人が多いのと、外国に留学したメンバーが一堂に採用されている特徴があります。特にキューバ組とポルトガル組に分かれるのですが、どちらも同時期に海外で文化芸術系を学びそれぞれの部署に配属されています。今回はキューバ組のメンバーが一つの部署に集められ、開校に向けた準備を進めています。

3 コーヒー摘みへエルメラへ

仲の良い同期隊員と友達に声をかけてもらい、コーヒーの収穫体験に行ってきました。日本でも東ティモールのコーヒーが売られていますし、ティモール人もカフェティモールと呼んで誇りにしています。

首都ディリからエルメラ県のグレノまで約2時間、そこから車で約1時間ほど進みます。目的地が近くなってくると道路横からもコーヒー木の実がなっているのがわかります。実際の収穫は川沿いの崖のようなところを登ったところで約2時間体験し、初めて食べたコーヒーの実はとても甘かったです。コーヒー豆を乾かす工程まで見学し、大満足の1日でした。ここで質の良いものを選び、海外の日本などで販売されているとのことでした。



コーヒーの実を摘みます



手作りの装置で実を剥ぎ中の豆だけにします



乾かして豆の皮を取り除きます

3 マナトゥトへの旅行

首都ディリからバスで約3時間の隣県のマナトゥトへ行ってきました。年に一回のお祭りの時期で、サント・アントニオの誕生のお祭り(カトリック)です。一番の目玉は馬に乗って、上から吊るされたくす玉の中にお金を入れ、それを馬で駆けながら竹の棒でくす玉のお金を取るという奇祭です。仮装している人も多く、地元の人を中心に盛り上がっていました。



祭りの様子

4 2017年度1次隊の帰国



次は自分が帰国です

お世話になった先輩方が帰国しました。最終報告会、送別会、空港への見送りとは自分の番だなと思いながら先輩方を見送りましたが、まだ実感がわきません。配属先の同僚からは、半年以上前からもう帰るのかと話しされてます。帰国までもあっという間に過ぎると思いますが、これから少しずつ実感が湧いてきそうです。《第21号終わり》